

高等学校 公民科

政治・経済

定期テスト対策

想定問題集

高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）準拠／大学入学共通テスト対応
— 問題編 —

想定問題 21 回分＋巻末ドリルの問題編です。

小問ごとに、左が問題文、右が解答らんになっています。

すべて 100 点満点です。時間を計って解きましょう。

答え合わせは、別冊の「解答・解説編」で行ってください。

目次

■ 範囲別想定問題

- 第1回 政治と国家／法の支配／民主政治の基本原則
- 第2回 社会契約説と市民革命／人権の歴史／世界の政治体制
- 第3回 二つの憲法／憲法の基本原則と改正／平等権
- 第4回 自由権① 身体の自由／② 精神の自由／③ 経済活動の自由
- 第5回 社会権／参政権・請求権／新しい人権／私法と契約
- 第6回 国会／内閣と行政のしくみ
- 第7回 裁判所と司法制度／地方自治
- 第8回 政党政治／選挙制度・世論と政治参加
- 第9回 経済社会の変容と経済体制／経済主体と企業／市場と価格
- 第10回 市場の失敗と政府の役割／国民経済の大きさ／物価と景気変動
- 第11回 財政のはたらきと租税／金融のはたらき／金融政策
- 第12回 日本経済のあゆみ／少子高齢社会と社会保障／多様な働き方
- 第13回 産業構造の変化と中小企業／財政健全化／食料と農業
- 第14回 公害防止と環境保全／消費者問題／地域社会の課題
- 第15回 国際社会の成立と変遷／国際法と国際裁判／国際連合
- 第16回 冷戦とその後の国際政治／日本の安全保障／軍縮／民族問題
- 第17回 貿易の意義と自由貿易・保護貿易／外国為替／国際収支
- 第18回 国際経済体制の歩み／地域経済統合／南北問題／地球環境

■ 総合想定問題

- 第19回 総合① 政治分野
- 第20回 総合② 経済分野
- 第21回 総合③ 全範囲・共通テスト型

■ 巻末資料

- 巻末資料① 計算・資料読み取りドリル 45 問
- 巻末資料② 記述問題対策 15 題
- 巻末資料③ テスト直前チェックリスト

◆ この冊子の使い方

- ・この冊子は、教科書のまとめではなく「テストに出る形」で問う想定問題集です。本冊『政治・経済 学習プリント』で覚えたことを、テストの形で確かめるために使ってください。
- ・第Ⅰ部は範囲別の 18 回です。学校のテスト範囲に合う回を選んで解いてください。各回の冒頭

第1回 政治と国家／法の支配／民主政治の基本原理

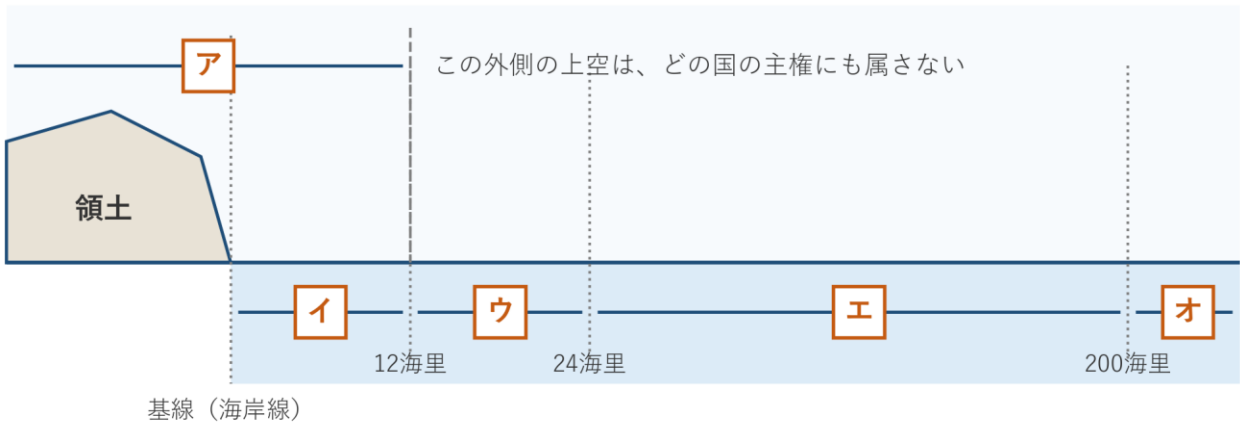
〔出題範囲〕 本冊 ■ 1 ～ ■ 3 〔制限時間〕 30 分 〔配点〕 100 点満点

■ 第1問 次の文中の（ ）にあてはまる語句を答えよ。〔各3点 計30点〕

(1) 人が集まって社会をつくると必ず利害の対立が生まれる。この対立を調整し、社会の秩序を維持していく働きを（ ア ）という。	ア
(2) 政治を行うには人々を従わせる力が必要であり、これを（ イ ）という。これは警察力や軍事力といった物理的強制力を独占的にもつ点で、ほかの社会集団の力と区別される。	イ
(3) ドイツの社会学者ウェーバーは、支配の正当性の根拠によって支配を三つに分類し、伝統的支配・（ ウ ）的支配・（ エ ）的支配とした。	ウ エ
(4) ドイツの公法学者イエリネックは、国家の成立に必要な三つの要素として、領域・国民・（ オ ）をあげた。	オ
(5) 三十年戦争を終わらせた 1648 年の（ カ ）条約によって、各国が対等な主権をもち内政に干渉されないという原則が確立した。	カ
(6) 国王や政府といえども法に従わなければならない、その法の内容は人権を保障するものでなければならないという原理を（ キ ）という。これに対し、19 世紀のドイツで発達した（ ク ）は、法律の内容までは問わなかった。	キ ク
(7) アメリカ第 16 代大統領リンカンは、ゲティスバーグ演説で民主政治を「人民の、人民による、（ ケ ）」と表現した。	ケ
(8) 権力を複数の機関に分け、たがいに（ コ ）を働かせるしくみを権力分立という。	コ

■ 第2問 次の図1を見て、あとの問いに答えよ。〔各3点 計24点〕

図1 国家の領域と海のくぎり



※距離はいずれも基線からはかる。ウは沿岸国が通関・出入国管理などの取りしまりを行える範囲、エは水産資源・鉱物資源の探査と開発について沿岸国に排他的な権利が認められる範囲である。

問1 図1のア～オにあてはまる語を、それぞれ答えよ。	ア イ ウ エ オ
問2 図1のイの範囲は、基線から何海里までか。	
問3 図1のエの範囲について正しく述べたものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。 ア 沿岸国に水産資源や鉱物資源の探査・開発について排他的な権利が認められる。 イ 沿岸国の領域であり、他国の船は自由に航行できない。 ウ どの国の主権にも属さず、すべての国が自由に資源を開発できる。 エ 沿岸国の上空もふくめて、すべて沿岸国の主権のもとに置かれる。	
問4 国家の三要素のうち、図1が表しているものはどれか。	